

PM2.5よりも
恐ろしい!!

中国食品「底なし」の危険

宝島

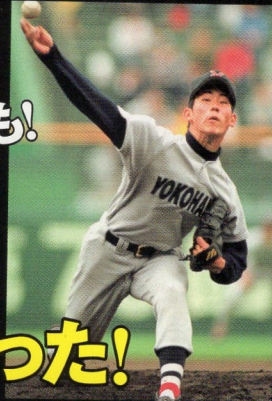
タブーに斬り込む
知的探究マガジン

05

no.730
2013 MAY
特別定価580円

春の選抜 甲子園

優勝予想も!



1998春 松坂大輔

あの試合がすごかった!

企業トップや教師、警察官らがJK(女子高生)に!!
急増!!「スマホ盗撮」逮捕
なぜしてしまうのか?

公務・教育・住居から毎日の食事まで
知っているようで知らない

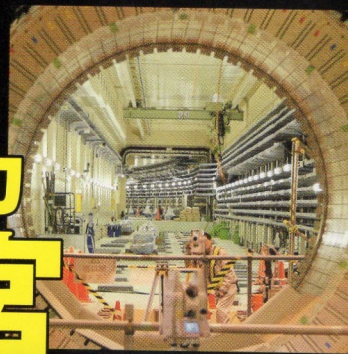
皇室・皇族33の謎

「どうせ死ぬなら「がん」がいい」が話題!!

医師“近藤誠”の原点

知られざる「地下」の魅力

東京地下迷宮



半グレ「関東連合」より危険な半グレ集団が出現!?
北朝鮮元構成員が明かす「朝鮮総連」言論封殺の手法
宗教 思わぬ人が深みにハマる「統一教会」の甘い罠
検察 組織ぐるみで司法改革をつぶす「特捜検察」ほか

入門! 日本の コワ〜い 組織

これがデメリット! アベノミクスの超マイナスイ

盗撮「してしまうのか？」

犯罪とわかっていのに、スカートからのぞく足を見るところを衝動を抑えられない男たち。なぜ彼らは人生破綻のリスクを冒してまで盗撮に走るのか。その陰にあると指摘されるスマホの普及を含め、社会学、法律学、心理学の観点から、彼らの変態行動の解明を試みた。

**1年で30%も増加！
盗撮犯の素性は？**

2012年8月、京阪線の車内で、27歳の男が通勤中だった女性のキュロットスカートのなかをスマートフォン（多機能携帯電話、以下スマホ）で動画撮影したとして現行犯逮捕された。男は取り押さえられても抵抗することなく、駆けつけた警察官の質問に対して素直に「大阪地裁の裁判官です」と答えたという。

そう、いまや電車に乗れば、多くの人がスマホの画面をのぞき込んでいる。メディア事業を展開するインプレスR&Dが公表した『スマートフォン/ケータイ利用動向調査2013』によれば、10代〜60代の男女におけるスマホの個人利用率は39.8%。40代男性

に限れば44.3%と半数近くが利用している。スマホは完全に社会に溶け込んでしまったといえる。

操作方法が簡単で、ゲームや読書、音楽や動画の視聴も可能なスマホ。写真や動画の撮影についても、自動で焦点を合わせるオートフォーカス機能がほとんどの機種についており、しかも高解像度化が著しい。しかし近年、そんなスマホを使った気になるニュースが増加している。

それが、スマホによる電車や駅といった公共の場での「盗撮」事件だ。下のグラフからわかるように、警視庁が発表している盗撮の送検数は08年から年を追うごとに増加。とくに、10年から11年にかけては263件と、前年からなんと30%も増加したのである。

しかも驚くべきことに、このなかには公務員や警察官、教師など社会的な模範たるべき、かつ安定した立場にある人々が少なくない。逮捕されれば罰金や懲役刑になるだけでなく、ニュースなどで実名をさらされて社会的な信用を一気に失う

可能性が高い。リスクとしては高すぎるともいえる。にもかかわらず、なぜこのように「盗撮に走る男たち」が増加の一途なのか？

**誰でも簡単に盗撮できる
無料「無音アプリ」の浸透**

アップル社のiPhone 3Gの販売が日本で開始されたのは、08年7月のこと。それを皮切りに、各社からスマホが次々と登場した。時期としては盗撮送検数の増加とリンクしているようにみえるが、こうしたスマホの普及と盗撮事件の増加の間には関係性があるのだろうか。

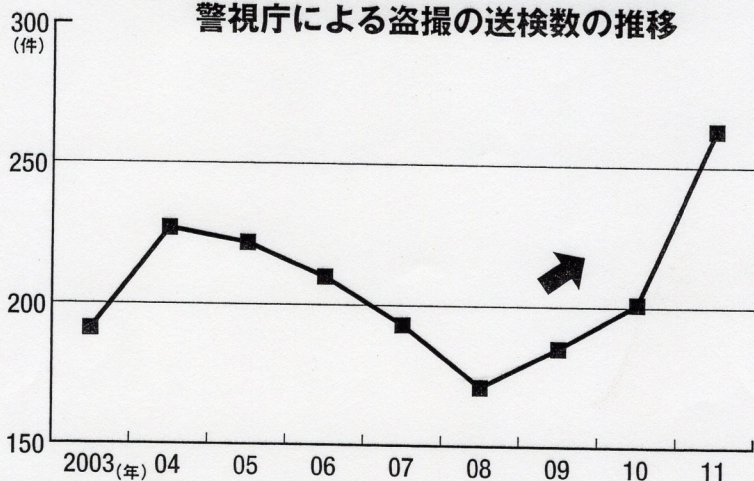
「スマホのように簡単に撮影できるツールの誕生が盗撮のチャンスをも人間に与え、実際の

行動に移らせる契機となった可能性は十分にあり得るでしょう」

そう語るのは、追手門学院大学社会学部の柏原全孝准教授だ。

「実際にスマホの普及と盗撮の増加にどれほどの因果関係があるのかはまだわかりませんが、スマホという「手段」とミニスカートの女性が目の前にいるといった「状況」がそろえば、衝

警視庁による盗撮の送検数の推移



2009年から増加の一途をたどり、10年から11年には急上昇を描く。すべてがスマホを用いた盗撮ではないが、警視庁のまとめによれば12年の盗撮に使われた機器はスマホが52%を占めていたという。

世の“変態”たちを徹底分析!!

なぜ人は「スマホで

取材・文 / オフィス三銃士

こんなに増えたスマホの無料「無音アプリ」の代表例

Android	
名称	特徴
無音カメラ (サイレントシャッター)	・連続撮影可能 ・連写速度調整機能
ウバ 無音カメラFree	・10倍ズーム ・手ぶれ補正
タテヨコカメラ (無音)	・オートフォーカス ・セルフタイマーつき
無音連写カメラくん	・撮影を中断するまで連写し続ける ・画面にほかのWebを出したまま撮影可能
サイレントカメラ 無音連写 FREE	・アンドロイダー株式会社 の公認デベロッパーが制作 ・Webサイト画面で撮影可能
[高画質] 良い無音カメラ	・最高レベルのカメラ速度 ・操作が簡単
忍者カメラ (隠し撮り専用の無音カメラ※盗撮厳禁)	・撮影時にブラウザ端末ロック画面に偽装 ・撮影した写真は隠しフォルダに保存
ヒューマン無音カメラ	・タイマーを3、5、10秒で設定可能 ・ズーム機能
ワンショット 無音カメラウィジェット Pro	・トップ画面からワンタッチで撮影可能 ・タイマー機能つき

iPhone	
名称	特徴
マナーカメラ-静音 (+動画映像)	・オートフォーカス ・4倍ズーム ・サファリ画面で撮影可能
無音カメラ	・アルバムにパスワードを設定可能 ・連続撮影機能 ・タイマー機能つき
スパイカメラ	・画面を長押しすると撮影画面が消える ・自動フォーカス
静音シャッターカメラ	・パスワードつきフォルダ作成可能 ・写真を自動で明るくする

動的に盗撮行為に駆り立てられてしまうことも考えられます」(柏原准教授)

これまでも、携帯電話といろんな状況で操作しても不審に思われないツールは存在した。だが、撮影時には必ずシャッター音が鳴る仕組みになっており、マナーモード時でも消すことができない音が、盗撮行為への抑止力になっていたのだ。もちろん知識のある人間が改造すれば無音化できたが、素人には難しかった。しかし、スマホの場合は

事情が違う。そう語るのは、非営利団体「全国盗撮犯罪防止ネットワーク」の代表平松直哉氏だ。

「スマホならば誰でも簡単に、しかも無料でシャッター音を消すアプリをダウンロードできます。つまり、素人が簡単に無音のカメラを手にすることができるようになったのです。こうした無料『無音アプリ』の普及が、盗撮事件増加の一因といえますね」

左の表にまとめたが、平松氏の言葉の通り、無料で

ダウンロードできる『無音アプリ』は数え切れないほど存在する。もちろん、アプリの使用目的としては寝ている赤ん坊やペットを起ささないように撮影できると説明されており、「盗撮などに使用しないで下さい」という但し書きもある。だが、なかには盗撮目的と疑われても仕方がないものが存在するのも事実だ。

たとえば、『無音連写カメラくん』は脇からのぞき込んでいるとわからないよう、

「コミュニティ」の存在が盗撮衝動を刺激する

ウェブサイトの画面を表示させたまま撮影できる。さらに、一度撮影を開始すると中断ボタンを押すまで勝手に連写し続ける機能もある。これらを使い、周囲に気付かれないまま盗撮を行うことは十分に可能だ。

「警察官や公務員などニュースにのぼる立場の人が盗撮した場合は、衝動的に犯行に及ぶ人が多いはずだ」(柏原准教授)

冒頭の事例では、裁判官の犯行は女性の背後からスカートにスマホを差し込むという方法だった。常習者は小さな穴を開けたスニーカーにカメラを仕込むなど巧妙な手口を使う者も多いなかで、この裁判官の犯行は稚拙極まりない。本人も「興味本位で、どんなパンツをはいているか知りたかった」と動機を語っており、安易な気持ちで犯行に及んだことが想像できる。

さらに柏原准教授は性癖としての盗撮について語る。「一般に『のぞき』と『盗撮』は同じに捉えられます

最近のスマホ系盗撮のおもな事件

拘束日	都道府県	被疑者の立場	概要
2013年3月	福岡県	教師	県立柳河特別支援学校講師(30)が靴ひもの間にスマホを取りつけ、小学生の女児を盗撮しようとした
2013年3月	和歌山県	公務員	県職員(27)がエスカレーターでカバンの上にスマホを置き、女性会社員のスカートのなかを動画で撮影
2013年2月	東京都	公務員	豊島区の主任主事(40)が電車内で女性会社員のスカートのなかをスマホで盗撮
2013年1月	秋田県	警察官	出張先の大阪市の書店で女子高生のスカートのなかをスマホの動画で撮影
2012年11月	神奈川県	教師	私立小学校教諭 39 が駅の階段でスマホを使い、女性のスカートを盗撮
2012年11月	大阪府	警察官	南署刑事課の巡査員(30)が自宅マンションのベランダから携帯電話を差し入れて複数回にわたりとりの部屋に住む20代の女性を撮影
2012年10月	京都府	警察官	城陽署の刑事課巡査 25 が駅構内のエスカレーターで女子高生のスカートのなかをスマホを差し込んで盗撮しようとした
2012年9月	秋田県	警察官	県警本部会計課の一般職員がリサイクルショップで女性客に後ろから近づき下半身を動画で撮影
2012年9月	千葉県	公務員	財務相の職員(47)が電車内でカメラ機能つき携帯型音楽プレーヤーで女子高生3人のスカートを盗撮
2012年8月	大阪府	裁判官	大阪地裁の裁判官(27)が電車内で女性のスカートのなかをスマホで撮影
2012年8月	東京都	経営者	日本IBMの大蔵卓麻(63)最高顧問が駅構内のエスカレーターで「iPod」のカメラ機能で女性のスカート内を撮影
2012年8月	千葉県	教師	私立中学校の常勤講師(28)がパチンコ店でアルバイト店員のスカート内をスマホで動画撮影
2012年8月	徳島県	消防士	徳島東消防署の消防士(25)がコンビニエンスストアで女子中学生のスカート内を携帯電話で撮影しようとした

表にまとめたのはスマホ盗撮のほんの一部だが、これだけの男たちが盗撮で身を崩した。懲戒免職となった者もいるが、なかには書類送検だけで済んだり、被害者女性から被害届が出なかったために即日釈放された例もある。

が、欲望の種類としては全くの別物です。一番の違いは、保存・収集・交換が可能であるということ。つまり、「盗撮」という同じ目的を持った共同体が存在するのです(柏原准教授)

アダルトビデオにも「盗撮」というジャンルが確立しており、インターネットでも盗撮の画像や動画を集めた専門サイトがいくつも

ある。盗撮が性的嗜好のひとつとして男たちの間で認知されているいまの社会、そしてスマホという盗撮が可能で道具の存在が衝動的な盗撮を助長しているといえそうだ。

じつは盗撮を取り締まる全国統一の法律はない!

こうした社会的、技術的な要因に加え、『全国盗撮

重なる人もいるのです」
さらに平松氏は、盗撮を裁く法律にも問題があることを指摘する。

「盗撮は各都道府県の迷惑行為防止条例が軽犯罪法、または建造物侵入罪などに当てはまります。駅での盗撮が行われた場合、多くは都道府県の迷惑行為防止条例で逮捕されるのですが、その内容は地域ごとに罰則やその定義がバラバラ」

たとえば東京都の場合、「公共の乗物において、人の通常衣服で隠されている下着又は身体を、写真機その他の機器を用いて撮影」することを明確に禁止している。だが、沖縄県では「公共の乗物において、他人を著しくしゅう恥させ、又は他人に不安を覚えさせるような卑わいな言動」こそ禁止されているものの、下着を撮影することそのものは禁止されていない。つまり、被害者女性が盗撮されたことに恥ずかしさや不安を覚えなければ犯罪にならないこともあり得るということだ。さらに罰則についても、1年以下の懲役が課される地域があれば、10

万円以下の罰金だけで済むこともある。

「また、各都道府県の警察の意識差もあります。盗撮犯の検挙に力を入れていないところでは、身柄を拘束しても送検しないことがあるでしょう。盗撮行為全般を取り締まる全国統一の法律がないのが、盗撮が軽くみられてしまう要因にあるはず」(平松氏)

盗撮は再犯率の高い犯罪だ。その原因に、こうした

盗撮に対する迷惑行為防止条例における対応の違い

盗撮(下着の撮影など)が明確に禁じられていない県(11)	宮城県、千葉県、群馬県、静岡県、兵庫県、岡山県、愛媛県、高知県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県
盗撮(下着の撮影など)が明確に禁じられている都道府県(36)	北海道、青森県、秋田県、山形県、岩手県、福島県、東京都、神奈川県、埼玉県、茨城県、栃木県、新潟県、長野県、山梨県、富山県、石川県、福井県、愛知県、岐阜県、三重県、大阪府、京都府、滋賀県、奈良県、和歌山県、鳥取県、島根県、広島県、山口県、徳島県、香川県、福岡県、大分県、佐賀県、長崎県、熊本県

日本の法律が影響していることは十分に考えられる。

男であれば誰しも盗撮を行う可能性がある

日本が盗撮に対して比較的緩い環境であることはわかったが、そもそも盗撮願望は、ある種の男だけが持つ特殊な性癖なのだろうか。「じつは、盗撮願望を持っている人は少なくないかもしれません。それは男性の

精神的特徴のひとつだからです」

そう語るのは、痴漢・盗撮改善の相談を請け負うカウンセリングオフィスAXIAの心理臨床カウンセセラ、衣川竜也氏だ。

「男性は肉体的に性行為が可能になる時期と、性に関心を抱きはじめる時期にズレがあります。つまり、男性は幼少時に『性に興味があるがなにもできない』と

自分の盗撮願望に気付いていない男も……



アダルトビデオや成人向けの本を販売するアダルトショップでも「盗撮」は1分野になっている。「盗撮」をタイトルに冠したビデオが売られている。(写真は本文とは関係ありません)

いう一種の欲求不満を抱く時期が必ずあるのです。そして、そうした願望が抑圧される時期に、個々人の性的嗜好や性癖が決まるのです」(衣川氏)

もちろん、世の多くの男はそうした欲求があっても理性でそれを防止しているのだが、そのたががはずれてしまうことがある。その原因となるのは過度のストレスだと衣川氏は指摘する。

「衝動は脳の脳辺縁系、理性は脳新皮質が支配しています。ストレスは脳の働きに影響しますが、ここに影響しやすいかは個人差があり、理性や合理的な思考を生む部分に影響が出る人もいる。そのため、通常の状態ならば『盗撮したい』という衝動をストップさせる前頭前野が機能せず、そのまま運動(実際の盗撮行為)に移るのです」

もちろん、欲望の向かう先は盗撮だけではない。人によっては痴漢、露出行為になる。だが、いずれの場合もその根底にあるのは、男なら誰もが持っている性的欲求なのだという。「とくに注意しなければな

盗撮に走りやすい人の傾向

- 自分で物事を決められない
- 周囲の言葉に対し自分の意見を主張しない
- つねに周りからの援助を求めている
- 自分に自信がなく、不安感情が起りやすい
- 自分の過失をなかなか認められない
- 我慢強い
- ストレスをうまく発散できない
- 流されやすい
- 頼みを断れない
- 衝動的な行動に走りやすい
- 他人の気持ちへの想像力が弱い

といわれていたからだ。

また衣川氏は、すぐ人やモノに頼る依存的な性格や、自分の非を認めようとしな

い逃避的な性格の人も盗撮に走りやすいと指摘する。

とに、絶対には忘れてはいけないのは、盗撮など自分には関係ないと決め込んでいた人も、条件さえそろえば盗撮に及ぶ可能性があるということだ。

そして最後に。盗撮は発覚しづらい犯罪と前述した

12年8月に盗撮で書類送検された、当時日本IBMの最高顧問を務めていた大歳卓麻は、この例に当てはまるのかもしれない。大歳はほかにも大手企業5社の社外取締役を兼任しており、関係者の間では「普段の生活からは想像がつかない」

ということが多い。こんなにも多くの盗撮犯罪者が捕まっていると驚くのではなく、実際はその何倍もの被害があると考えたほうがいい。それは、逮捕されていない犯罪者がまだ数多くいるということにほかならない。